

# 「郊外住宅地における地域移動」 社会実験を実施します！

次世代郊外まちづくりでは、昨年度実施した住民調査の結果や地域の移動に関する意見交換を踏まえ、「郊外住宅地における地域移動」の社会実験を実施します。

坂道の多いモデル地区（美しが丘1・2・3丁目）において、駅と自宅の行き来のための移動手段だけでなくお年寄りやお子さま連れの家族など、さまざまな世代の方々が移動しやすくなることで、外出の機会につなげ、新たなコミュニティの形成を促進し、健康でいきいきと元気に暮らせるまちづくりを目指しています。



## 実施期間：2019年1月～3月(予定)

※社会実験ですので、途中で実験を中止したり、内容を変更する場合があります。

### 実施概要

- 1 「ハイグレード通勤バス」実験プロジェクト
- 2 「オンデマンドバス」実験プロジェクト
- 3 「パーソナルモビリティ」実験プロジェクト
- 4 「マンション内カーシェアリング」実験プロジェクト(予定)

詳しくはWEBサイト ▶ <http://jisedaikogai.jp/news/3209>

次世代郊外まちづくり  
WISE CITY

<http://jisedaikogai.jp/>

Webサイトはこちら



横浜市



東急電鉄

WISE CITY

WELLNESS & WALKABLE  
INTELLIGENCE & ICT  
SMART-SUSTAINABLE & SAFETY  
ECOLOGY-ENERGY & ECONOMY

2018年12月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

【連絡先】横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4459

# 次世代郊外 まちづくり通信

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

vol.25

## 「田園都市で暮らす、働く」を考えるをテーマとした 次世代郊外まちづくりシンポジウム

開催  
しました！

2018年11月4日(日)、たまプラザにある「プラザホール by iTSCOM」にて『次世代郊外まちづくりシンポジウム～田園都市で暮らす、働く』が開催され、約100名の住民や関係者にお集まりいただきました。本シンポジウムのテーマである“働く”は、次世代郊外まちづくりで掲げる「コミュニティ・リビング」実現のためにも、また今後の郊外住宅地のまちづくりにおいても欠かせないキーワードです。

シンポジウムではまず、カルチャースタディーズ研究所の三浦展氏より「郊外で暮らす、働く」を切り口としたご講演をいただき、郊外住宅地の未来の暮らしを作る3つのヒント「①ワーカブル」「②夜の娯楽」「③シェアタウン」を示唆いただきました。

続いて、来場者とともに新しい暮らしを描く「トークディスカッション」を実施。ナビゲーターとして、次世代郊外まちづくりのスタート時から様々な活動に関わっていただいている東京大学の小泉教授をお迎えし、5つのテーマに分かれて、未来の暮らしについてのアイデアや課題を出しあいました。参加者からは、「田園都市線、たまプラザの魅力や今後について考える機会となり有意義だった」「地域住民の積極的な参加が不可欠」などのお声をいただき、今後の活動のヒントを多く得ることができました。



### 当日の開催概要

日程 2018年11月4日(日)

時間 13:00 ~ 16:00

場所 プラザホール by iTSCOM

### プログラム 「田園都市で暮らす、働く」を考える

- 1) キーノートスピーチ  
三浦展氏(カルチャースタディーズ研究所)
- 2) トークディスカッション  
ナビゲーター 小泉秀樹教授(東京大学まちづくり研究室)
- 3) 「地域交通」に関する社会実験

新しい暮らし方、働き方を学びました

## 「田園都市で暮らす、働く」勉強会・視察会の実施

シンポジウムに先駆けて次世代郊外まちづくり事務局では、田園都市において“働く”可能性を探るため、郊外での新しい暮らし方、働き方を実践されている方々をお招きした勉強会や、実際の活動場所にお伺いする視察会を実施しました。

これらの勉強会や視察会で得られた知見を基に、次世代郊外まちづくり事務局では、「働く」と「住む」が融合した新しい豊かな暮らしの実現に向けた検討を進めています。



タウンキッチン



KILTA (キルタ)

### 講師・視察先

7/13・9/18	北池 智一郎氏 (TOWN KITCHEN) 東京西部を中心に創業支援事業・施設運営
8/7	桑原 憂貴氏 (KILTA) 横浜市・都築区にある会費制のシェア工房
8/21	蒲生 智会氏 (Three Owl) 女性のキャリア支援・子育てとの両立支援
8/22	尾崎 えり子氏 (Trist) 千葉県・流山市にあるシェアサテライトオフィス
9/12	菅原 健介氏 (ぐるんとびー) 小規模多機能型居宅介護施設運営
9/21	馬場 正尊氏 (Open A / 公共 R 不動産) 公共空間の活用
10/1	三浦 展氏 (カルチャースタディーズ研究所) 社会的視点から見た郊外研究

少子高齢化が進む郊外住宅地を、自立した持続可能なまちにしていけるためには、居住者数の維持だけではなく、地域に暮らし、活動の場とする人々が、様々な活動を通じて、地域と関わり、充実したライフスタイルが実現できるまちとなることが望めます。

## 田園都市で暮らす、働く

今後、次世代郊外まちづくりでは「田園都市で暮らす、働く」をテーマとし活動を進めていきます。ここで意味する“働く”とは、就労や通勤のみではなく、子育てや地域活動、さらには自分の好きなコト、やりたいコトを実現するなどさまざまな活動を指します。多様な活動が地域で生まれることで、それぞれのまちがより豊かで、持続可能なものになっていくと考えています。

地域のみなさまと共に新しい暮らし方を考えました

## 次世代郊外まちづくりシンポジウム「トークディスカッション」の実施

11月4日に実施した「次世代郊外まちづくりシンポジウム」では、勉強会・視察会で得られた知見を共有すると共に、来場者の方と郊外住宅地での新しい暮らしのヒントを探るため「5つのテーマ」に分かれてディスカッションを行いました。



### 5つのテーマと参加者の声

- 1 「自宅の近くで安心して働ける」暮らし  
住むところの近くに、働くだけでなく機能を持つワークスペースがあれば、より一層暮らしが豊かになる。
- 2 「自分のやりたいコトをカタチにする」暮らし  
ヒトや情報をマッチングする仕組みや、ノウハウを共有する場があるといい。
- 3 「シェアを楽しみながら自分の時間をつくる」暮らし  
シェアキッチンなど、身近なヒト、楽しいコトのシェアから新しいつながりが生まれる。
- 4 「地域のためのコト・モノ・サービスを生み出す」暮らし  
市民・企業・専門家・行政など多様な立場や所属、世代を超えた連携が大切。
- 5 「夜も楽しめる」暮らし  
気軽に肩肘をはらずだれもが「食」や「お酒」を楽しめることが大切。防犯パトロールに繋がる仕組みもあるといい。

新しい働く場所が生まれています

## 「コミュニティ・リビング」の具現化

### WISE Living Lab PEOPLEWISE CAFE ワーカープラン

WISE Living Lab 内の PEOPLE WISE CAFEでは、ワーカープランを設定。

月額会員プランと、好きな時に利用できるドロップインプランがあり、“地域の働く場所”の提供を行っています。



▶ <https://peoplewisecafe.jp/>

### CO-NIWAたまプラーザ セラン事務局 美しが丘オフィス 美しが丘ワーキングスペース

CO-NIWA たまプラーザ内には企業へのアウトソーシングサービス事業などを通じて沿線在住の方に就労の機会を提供しているセラン事務局が、新たな事務所とシェアワークスペースを開設。併設するキッズルームの託児専門スタッフに子どもを預け、安心して仕事ができる身近で便利なワークスペースを展開しています。



▶ <http://www.selun.ne.jp/share/>

## たまプラーザから新しい暮らしを

たまプラーザでは、新しい働く場所が整備されていたり、地域活動が活発に展開されていたりするなど、「田園都市で暮らす、働く」の実現に向けた兆しが生まれつつあります。

次世代郊外まちづくりでは、今後も検討や取り組みを進め、たまプラーザで描く新しい暮らしを田園都市沿線のまちへ展開していきたいと考えています。

